

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

| | | | | | | |
|-------|----------|---|------|---|--------|--------------|
| 一般会計 | | | | | 事務事業分類 | D 建設・整備事業 |
| 事務事業名 | 大仙公園整備事業 | | | | シート番号 | 019-073 |
| 担当部署名 | 建設 | 局 | 公園緑地 | 部 | 公園緑地整備 | 課 評価責任者(課長名) |
| | | | | | | 三好 |

Ⅰ. 基本情報

| | | | | | | |
|------|---------|--|---|---|-------------------------|-------------|
| 基本情報 | 1 | 堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け | 政策 | 2 | 誰もが幸せで、暮らしの質の高いまちを実現します | 後期実施計画の位置付け |
| | | | 施策 | 1 | 歴史文化を活かしたまちづくりの推進 | 有 |
| | 2 | 事業開始年度 | 昭和 38 年度 | | 終了(予定)年度 | — 年度 |
| | 3 | 根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等) | 都市計画法、都市公園法、堺市公園条例 | | | |
| | 4 | 関連計画 | 社会資本総合整備計画((仮称)堺市における歴史・文化を活かした魅力あふれる百舌鳥古墳群周辺の整備)(重点計画)、歴史的風致維持向上計画、緑の基本計画、都市計画マスタープラン、地域防災計画 | | | |
| 5 | 事業実施の経緯 | 昭和22年に戦災復興事業として都市計画決定した総合公園で、シンボルパークに相応しい魅力あふれる公園の整備を行っている。(計画決定面積:81.1ha、事業認可面積:51.9ha)近年、百舌鳥・古市古墳群の世界遺産登録への気運の高まりを受け、百舌鳥古墳群を保全・活用した歴史公園としての整備を進めている。平成26年度末に事業認可区域の拡大を行った。 | | | | |

Ⅱ. 事業概要

| | | | | | | | |
|------|--------------|--|--|--|--|--|--|
| 事業概要 | 6 | 事業の実施主体(誰が実施しているのか。) | <input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 () | | | | |
| | 7 | 事業の対象(誰を、何を対象としているのか) | 公園を利用する市民及び国内外からの来訪者 | | | | |
| | 8 | 事業の目的(どのような状況にしたいのか) | 堺市のシンボルパークとして、仁徳天皇陵古墳及び履中天皇陵古墳の深い緑と一体となり、史跡・文化及び教養施設を備えた風格ある総合公園を整備する。また、市民の安らぎやレクリエーションの場として、都市周辺の自然環境を保全する重要な水と緑のオープンスペースとして、災害時には広域避難地としての役割を担い、市民の安全を守ることを目的として整備する。 | | | | |
| | 9 | 事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど) | ・事業用地の取得(百舌鳥夕雲町二丁地区)を行う。 ・世界文化遺産登録による来訪者対策のため、大仙公園第3駐車場の改修工事を実施し、寺山南山古墳周辺の整備方針について再調整を行った。 【今後のスケジュール】※寺山南山古墳周辺 令和2年度 実施設計 令和3年度 整備工事 ※令和4年度以降に見直し。 | | | | |
| 10 | 直接実施以外の主な支出先 | <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 公益社団法人 大阪公共嘱託登記士地家屋調査士協会 | | | | | |

Ⅲ. 投入量

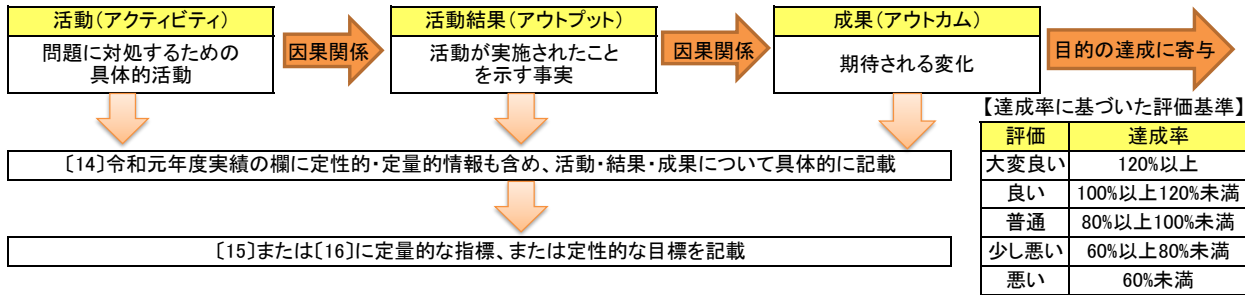
| 項目 | 単位 | 平成29年度 | | 平成30年度 | | 令和元年度 | | 令和2年度 | |
|--------------------|------------------|---------|---------|---------|--------|---------|---------|--------|--------|
| | | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | 決算 | 予算 | |
| 事業費 (a) | 千円 | 439,591 | 576,710 | 17,644 | 8,736 | 280,865 | 22,728 | 36,047 | |
| 11 主な事業費内訳 | 用地取得 | 千円 | 415,858 | 415,148 | | | 242,452 | | |
| | 公園整備工事 | 千円 | 4,083 | 152,782 | 4,083 | 3,097 | 4,083 | 2,651 | 4,640 |
| | 委託料 | 千円 | 16,265 | 6,426 | 10,476 | 3,492 | 29,130 | 19,663 | 27,076 |
| | 手数料 | 千円 | 2,845 | 2,210 | 2,845 | 2,084 | 4,800 | 345 | 3,623 |
| | 国・府支出金 | 千円 | 49,600 | 126,000 | | | 26,774 | | |
| | 財源内訳 | 千円 | | | | | | | |
| | 受益者負担金(使用料、手数料等) | 千円 | | | | | | | |
| 12 人件費 (b) | 市債 | 千円 | 285,700 | 357,800 | | 2,600 | 183,100 | 10,800 | 18,100 |
| | その他(基金繰入金) | 千円 | 104,200 | | | 6,100 | 70,000 | | |
| | 一般財源 | 千円 | 91 | 92,910 | 17,644 | 36 | 991 | 11,928 | 17,947 |
| 13 総コスト(c)=(a)+(b) | 千円 | 456,161 | 593,280 | 34,214 | 25,306 | 297,235 | 39,098 | 52,697 | |

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

| | | | |
|-------|----------|-------|---------|
| 事務事業名 | 大仙公園整備事業 | シート番号 | 019-073 |
|-------|----------|-------|---------|

Ⅳ. 評価(測定・分析)

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

| 令和元年度実績 | | | | | | | | |
|---------|----|--|----------------|--------|--------|-------|-------|---|
| 活動実績と成果 | 14 | <p>大仙公園の事業認可区域内の権利者の求めに応じて用地測量及び物件調査等土地建物の取得手続きを進めた結果、令和元年度は約1,020㎡の事業用地を取得した。 世界文化遺産登録による来訪者対策として、大仙公園第3駐車場においてタクシー乗り場を備えたロータリーの新設や駐車場の改良を実施し、利用者の利便性及び安全性の向上に寄与した。 また、寺山南山古墳周辺の整備方針について、文化財課等との再調整を行い、上野芝地区の部分的先行整備に向けた準備を進めた。</p> | | | | | | |
| | | 指標名【成果指標】 | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | |
| | 15 | 権利者の求めに応じた土地建物の取得面積 | m ² | 目標値 | 1,220 | 1,220 | 1,220 | 1,220 |
| | | | | 実績値 | 1,505 | 713 | 1,020 | |
| | | | | 達成率 | 123% | 58% | 84% | |
| | | | | 評価 | 大変良い | 悪い | 普通 | |
| | | 算出方法・設定根拠など | | | | | | JR百舌鳥駅周辺整備時期に合わせて用地取得するとした場合の評価 |
| | | 定性的な目標 | | | | | | |
| | 16 | 令和2年度 公園完成(上野芝地区) | | | | | | |
| | | 目標に対する実績 | | | | | | 世界文化遺産登録により、寺山南山古墳周辺の整備計画が再検討されることを踏まえ、対応を検討した。 |

事業の効率性

| | | 区分 | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
|----|----------------|---------------------|-------------------|--------|--------|-------|
| 17 | ① | | | | | |
| | ② | 上記①にかかる年間経費 | | 千円 | | |
| | ③ | 単位当たり経費(②÷①×1,000円) | | 円/単位 | | |
| | 備考(算出についての説明等) | | 効率性の分析に適さないため記載なし | | | |
| | | 区分 | 単位 | 平成29年度 | 平成30年度 | 令和元年度 |
| 18 | ① | | | | | |
| | ② | 上記①にかかる年間経費 | | 千円 | | |
| | ③ | 単位当たり経費(②÷①×1,000円) | | 円/単位 | | |
| | 備考(算出についての説明等) | | | | | |

業績の分析

| | |
|----|---|
| 19 | <p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p> |
| | <p>用地測量、物件調査、土地の引き渡しについて、権利者の意思を確認しながら手続きを進めることができた。 世界文化遺産登録の影響により、寺山南山古墳の整備計画が見直されることとなったことから、上野芝地区については、関係機関と整備方法や整備時期について再調整を行った結果、古墳の整備には影響を与えない範囲で先行して公園を整備することとした。</p> |

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

| | | | |
|-------|----------|-------|---------|
| 事務事業名 | 大仙公園整備事業 | シート番号 | 019-073 |
|-------|----------|-------|---------|

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。 ⇒ 確認

| | | | | | |
|--------------------------|-------------------------------------|--|---|---|--|
| コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性） | 20 | 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。 | 事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない | 廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 世界文化遺産登録による来訪者の増加に伴い、魅力ある公園整備が必要であり、廃止した場合には、来訪者及び周辺住民の利便性及び安全性の確保が不十分な状態となること懸念される。 | |
| | 21 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。 | 事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない | 休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 同上 | 休止の場合の再開時期 <input type="checkbox"/> 令和2年度中 <input type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降 |
| | 22 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。 | コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない | 縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 一部休止及び施設整備のグレードを見直すことで縮減は可能。 | |
| | 23 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。 | 事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている | 改善する場合は改善策、その他は理由 屋外での作業であることから、3密を避けながらの事業実施が可能であるため。 | |
| | 24 | (20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。 | 効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他() | 理由・説明 | 国との連携により、国費を充当して整備する予定である。 |
| 25 | これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。 | 事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を縮小 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大 | 実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降 | | |
| | | 所見 | 本市の財政状況を踏まえ、整備の一部休止等により事業費を縮小する。ただし、本事業は、来訪者や周辺住民の利便性及び安全性を確保することを目的としているため、財政状況を鑑みた上で、今後も継続して実施する。 | | |